

第3回京都デジタルアミューズメントアワード受賞者決定 及び表彰式の実施について

令和3年3月8日
京都府商工労働観光部
ものづくり振興課
(075-414-4846)

京都府では、コンテンツ産業の人材育成を目的に、コンテンツ制作に意欲的に取り組む若手制作者・グループの表彰を2018年度から実施しており、この度、2020年度（第3回）の受賞者について以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

周知及び表彰式（※）の取材についてよろしくお願いたします。

（※）表彰式は関係者のみが出席し、「京都コンテンツチャンネル」（別添）にて生配信します。

1 受賞者

(1) 京都デジタルアミューズメントアワード大賞（京都府知事賞）

株式会社京都アニメーション「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」制作チーム

京都で演出、作画、仕上げ、撮影などの一連のアニメーション制作工程を自社完結で担い、丁寧な作品づくりを支える人材の育成を図ってきた。「手紙の代筆」を通じて少女の心の成長を描いた今回のドラマアニメーション『劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン』においても、繊細で精緻な作画の表現力、写実的できめ細やかな色彩調整、物語の背景や人物の心情を効果的に伝える構図の工夫など、その磨かれた技やノウハウが発揮され大ヒットを記録

(2) ゲーム・インタラクティブ部門賞

立命館大学映像学部ゲームゼミ（Asobi-lab） Picture Project 制作グループ

立命館大学映像学部ゲームゼミの学生チーム。映像学だけでなく心理学、情報工学など幅広い学問領域を学ぶメンバー7名によって、「体験をデザインする」をコンセプトに、先端技術を駆使したゲームプレイ環境づくりに取り組んでいる。今回、アイトラッキングセンサーによって、プレイヤーの「視線」による操作を採り入れた、新たな謎解きアドベンチャーゲーム『Picture Project』を制作

(3) 映画・映像・アニメーション部門賞

京都芸術大学映画学科 北白川派

京都芸術大学映画学科の有志主体のチーム。従来の課題制作・研究制作の域を超え、商業上映を目的に、企画、資金調達、制作（撮影編集）、配給・宣伝に至る全工程を学生とプロが協働で行っており、2009年の立ち上げ以来、『嵐電』など地域にスポットを当てた8作品を手掛けてきた。今回、幕末の「七条油小路の変」を題材に、大手映画製作会社の協力を得て、チーム初の時代劇『CHAIN/チェイン』に挑戦した。

2 表彰式

日時：令和3年3月12日（金）14:30～15:00

場所：京都産業会館ホール北室（京都経済センター2階）

（京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地）

表彰状授与者：京都府副知事 山下 晃正

※感染症対策の一環で、取材いただく場合は事前に御連絡いただきますよう、御協力をお願いします。

（連絡先：京都府商工労働観光部ものづくり振興課 足利・中尾 Tel：075-414-4846）

